

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立高部屋小学校

1 調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none">・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関連付けたりして、伝え合う内容を検討することが概ねできている。・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが概ねできている。	<ul style="list-style-type: none">・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくこと。・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none">・速さが一定あることを基に、道のりと時間の関係について考察できることが概ねできている。・直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解することが概ねできている。・数量の関係を、□を用いた式に表すことが概ねできている。	<ul style="list-style-type: none">・除数が小数である場合の除法の計算をすること。・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。・速さの意味について理解すること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none">・朝食を毎日食べている児童が多い。・将来の夢や目標をもっている児童が多い。・人の役に立つ人間になりたいと考えている児童が多い。・学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。・国語や算数などの学習は大切で、将来、社会に出たときに役立つと思っている児童が多い。	<ul style="list-style-type: none">・基本的な生活習慣である起床や就寝の時刻が安定していない児童がある程度いたこと。・先生によいところを認めてもらっていると感じながら、自分のよさに自信がもてないでいる児童がある程度いたこと。・読書や新聞を読むなど、活字に親しむ機会が少ない児童が多いこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

漢字を文の中で正しく使ったり、応用的な課題を解決したりするための基礎的・基本的な学習内容の定着を目指していく必要がある。そのために、繰り返し学習を継続的に取り入れていく。

【国語】漢字の習得に関して、定期的に反復練習を取り入れていく。読書活動を増やしていく。

【算数】めあてを毎時間確認してから学習に取り組んだり、定期的に振り返りの練習問題に取り組んだりする。既習の練習問題に継続的に取り組むことで、基礎学力の定着を図り、課題を解決できる経験を増やしていく。

どの教科においても「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識し、話し合い活動を中心に互いを認め、自分のよさを見つける活動を意識的に取り入れることで、児童の自己肯定感を高めることができる取り組みをしていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・質問調査から、人の役に立つ人間になりたいと考えていること、学校で学習する内容は将来、役に立つと考え意欲的に取り組んでいることがうかがえました。ご家庭や地域で子どもたちの成長をサポートしていただいているおかげです。ご協力に感謝申し上げます。

・調査結果より、読書の時間が減る一方で、ゲームにかける時間が多い児童がいることが気になります。SNSや動画視聴などを2時間以上している児童はかなり多く、中には4時間以上視聴している児童も見受けられました。また、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人との約束を守っていない、また約束そのものがないと答えている児童がいることも分かりました。成長期の子どもたちには、体を動かす遊びや運動の習慣が大切であることも合わせ、メディア活用に関して、お子様と使用のルールを今一度確認していただき、就寝時間の確保もあわせて生活リズムを整えていけるようご協力いただけすると幸いです。